



編集・発行 山見妙勢能
日蓮宗 能勢妙見山
広報部
〒563-0132
大阪府豊能郡能勢町野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

学校の宿題

植田 観肇

子供が学校から帰ってきても、気分が乗らないのかなか宿題をしない。楽しそうに遊んでいるのを中断させるのも申し訳ないと思う反面、今日中に宿題が終わるのか気になり、こちらの方がやきもきしてしま

う。いっこうに遊びをやめないののでついに我慢できなくなつて「宿題しなさい」と言つてしまふ。
自分も昔それを言われてムツとしたものだから、本当は言いたくないのだが、宿題をしないと次の日に困るだろうし、言われた方の気持ちには痛いほど分かつているが、ついつい口に出して

まう。案の定、憤慨しながらしぶしぶ宿題に手を付ける子供を見ながら、何かもつと良い言い方がないものかとこちらも肩を落とす。

目の前の誘惑と未来の利益、一見簡単なように見えてもこれを冷静に判断するのは大人でも難しい。感覚的にはなんとなく同意して頂けるのではないかと思うが、意外な事に、これが学問の世界で科学的に証明されたのは最近だ。この分野を行動経済学というが、もとと経済学というの人は人が合理的な行動をすることが大前提なので、人が非合理的な行動をとることを経済学的に証明するというのはきつと大変なことであつたのだろう。

さて、そんな最近になつてやつとできた理論だが、仏様は昔からお見通しだ。法華経の化城論品（けじょうゆほん）というお経に、遠くにある大きな目標に向かうことは難しいので小さなゴールをたくさん作つて皆をやる気にさせ、最終的に目標に導くリーダーが登場する。このお話は法華七喻の一つで、お釈迦様が皆を成仏に導く様子を喩えた

お話しになっている。仏教はお葬式など死者のためのお話しが書いてあると思つている人もいるかもしれないが、それ以上に生きるための智慧が詰まった教えだ。仏様がせつかく私達のために残してくださつた教えを使わないのはもつたいない。個人的に、まずは宿題を楽しいゴールにする方法を考えてみようかな。

《法華経に学ぶ現代》

純智庵

地

皆震裂して

其の中より

無量千萬億の

菩薩

摩訶薩あつて

同時に

涌出せり

『從地涌出品第十五』

突然起こつた大異変
巨大地震に津波
原発事故に放射能
募る不安に日本が揺れる
この先いつたどうなるか
天罰といった都知事がいたけど
心配するなと立ち上がり
みんな励ます友もある
手と手を繋ぎ心を合わせ
この難局を乗り越える
湧き出すべきは人の情
絆で結ぶ人の輪が
平和な世界の元となる
みんな自分で自信を取り戻そう

【3月の主な行事】

- ☆報恩大祈禱会 4日(日)10時半
荒行僧出仕。水行、特別加持祈禱を行います
- ★写経会 11日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(木)13時
- ★星嶺演奏会 18日(日)11時
- ★星嶺茶論 18日(日)13時
- ★鷗様月例祭 22日(木)15時

【4月の行事予定】

- ★写経会 8日(日)11時
- ★星嶺演奏会 15日(日)11時
- ※4月の星嶺茶論はお休みです
- ★月例祈願法要 15日(日)13時
- ☆開運祭 20日(金)終日
- ※寺務所窓口にて開運守授与
- ★鷗様月例祭 22日(日)15時
- ※火伏守札を授与
- ☆星嶺祭 29日(祝)
- 11時30分星の子パレード
- 11時45分子供祈願大法要
- ※法要後は人形劇や太鼓演奏、ポニーに乗れるアトラクションや子供福引大会など。
- ★星嶺祭参加者募集!
- ☆星の子(祈禱料三〇〇〇円)参加希望者は11時に集合
- 《交通のご案内》
- ◆ケープル&リフト
- 冬季期間は運休。3月4日は特別運行。3月17日(土)から毎日運行します。

之を知る者は、 之を好む者に如かず

栗原啓文

眠れぬほど面白い小説がある。それは、夢枕獺氏の『沙門空海、唐の国にて鬼と宴す』という小説で、平安初期に密教を極めるために入唐していた空海が、唐の都長安に蔓延る悪霊を次々に退治していくという物語である。空海とは本当にこの物語に描かれているような人物だったのではないか、と思わせてしまう程の傑作だ。ちなみにこの小説は『空海く美しき王妃の謎』というタイトルで映画化され、先月末から全国公開されている。

の秘法は虚空蔵菩薩の真言を百日で百万回唱えることができればありとあらゆる經典を暗記できる記憶力を得ることができるといわれている。

『佐渡御勘気抄』に「本より学文し候し事は仏教をきはめて仏になり、恩ある人をもたすけんと思ふ。仏になる道は、必ず身命をすつるほどの事ありてこそ仏にはなり候らめと、をしはからる」とある。日蓮聖人は全ての恩ある人々の幸せを願って生涯を仏道修行に捧げられたのである。

この様に修行とは自分を痛めつけるものではなく、自分を含め世の人々の幸福のために行うものである。だからこそ、聖人は求聞持法の様な想像を絶する荒修行ですら、それを苦行とは感じておられなかったのかもしれない。

論語に「之を知る者は、之を好む者に如かず。之を

3月になると義理や本命はあるにせよバレンタインのお返しに何を送ろうかと考えている男性は多いのでは。ところでこのホワイデー、バレンタインデーと共に昔からあるのかと思いきや、三十年ほど前に日本のお菓子屋さんが始めたものらしい。

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

お菓子屋さんにまんまとのせられていると思うとシヤクだが、縁ある人に感謝の気持ちを表すのはとても大切なことだ。それがホワイデーである必要は無いが、お世話になっているあの人に、ありがとうと伝える日があってもよいかもしれない。U.K

好む者は、之を楽しむ者に如かず」とある。あることを知っている人は知識はあるけれど、それを好きな人にはかなわない。更にその人もそれを楽しんでる人にはかなわないという意味である。人間誰しも得手不得手がある。気乗りしないことでも、どう楽しんでやるのか、と思考を交換すれば、モチベーションも上がり、自身の幸せに繋がるのではないだろうか。

俳壇 (みのり)

行僧の髭に吹く風余寒なお
御手洗の水解け初め鳥唄ふ
訪へば梅の香なおも古校舎とぶら
いち早く日だまりに生ふクロッカス
古写真話題は尽きず春炬燵

暦のあれこれ

暦と暮らす 時と共に多くの改良が重ねられた暦ですが、現代では考え方も様変わりして、暦に示されている様々な吉凶を迷信だと思われている方も多いでしよう。確かに語呂合わせの様なものもありますが、多くのは昔からの自然に対する経験、智慧をもって考えられ、定められたものです。ですので、迷信だと一笑に付すのではなく、そんな日は自然のエネルギーが吉の方にあるいは凶の方に流れ易い時と考えてみてはどうでしょうか。しかしその力は必ず吉や凶になるものではなく、あくまでも補助的なものです。では何が主に吉凶を分ける力となるのかと考えると、それは私達の生き方ではないかと思えます。私達の生き方、行為の後に吉凶はついて来ます。そう考えると暦と接し易くなるのではないのでしょうか。